

令和3年 11 月 定例記者会見(報告)

1 日 時 令和3年 11 月 25 日(木)13時～14時

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、山形新聞、読売新聞、河北新報、毎日新聞、置賜日報
NHK、SAY、YTS、YBC

<市>市長、秘書広報課長

4 記者倶楽部からの質問事項

- (1) 市長再任から2年が過ぎました。この2年間の自己評価と、残りの任期2年の抱負、実施したいことをお示してください。また、今期限りでの退任を表明されていますが、後継者について、現時点ではどのようにお考えですか。
- (2) 米澤新聞社が休刊しました。地域の情報を発信する媒体が一つ失われましたが、市として情報発信の強化策を考えていますか。ありましたら具体的にお願いします。
- (3) 有害鳥獣対策について
米沢市における捕獲された猪の数や処分方法は、現在どうなっていますか。今後、焼却施設を整備することについて、どう考えていますか。
- (4) その他

5 内 容

○秘書広報課長

これより令和3年度 11 月の定例記者会見を始めさせていただきます。初めに市長から発言がございます。

○市長

今月の定例記者会見のご質問は3件でした。

1点目は「市長再任から2年が過ぎました。この2年間の自己評価と、残りの任期2年の抱負、実施したいことをお示しください。また、今限りでの退任を表明されていますが、後継者について、現時点ではどのようにお考えですか」との質問です。

まだ任期途中のため、自己評価ではなく、市民の皆様がどう評価するか、だと思います。この点については、発言を控えさせていただきます。ただし、感想を言うのであれば、この2年間は新型コロナウイルス感染症の対策に明け暮れた2年間だったと思います。米沢市から第1号感染者が出た後、クラスターが発生したこともあり、まずは感染予防に取り組まなければなりません。現在はワクチンの効果などもあり収まってきましたが、油断せずに取り組まなければならないと思っております。

選挙公約であった市立病院の建設については、医療連携病院建設ということで今年6月に起工式を行いました。残りの期間で開院できるように取り組んでまいります。

市役所についても、耐震診断を受けて倒壊の恐れがあったため、急ぎ建設を進めてまいりました。5月に新庁舎が開庁できたことは嬉しく思います。

屋内遊戯施設の建設については、議会の承認をいただき、アクティー米沢を改修して屋内遊戯施設を建設することになりました。内容はプロポーザルで決まりました。

残された期間で、申し上げた建物について市民の皆様喜んでいただけるような施設にするために努力してまいります。

この2年間でゼロカーボンシティ宣言もしました。SDGs 未来都市にも選定いただきました。また、デジタル化社会に対応するために、職員に研修を行いながら、今後 ICT などを活用して行政サービスをどう充実させていくかも課題です。市の事業を、どうやって SDGs に紐づけていくかということも見通しがついたらばかりです。プラットフォームづくりなども進めながら、持続可能な開発目標を市民の皆様を示していきたいと思っております。

コロナが収束しなければ、こういった新たな取り組みについても厳しい状況になる可能性があります。感染予防をしながら、1日も早く以前の経済状況を取り戻さなければならないと思っております。

また、後継者については現時点では考えておりません。

2点目は「米澤新聞社が休刊しました。地域の情報を発信する媒体が一つ失われましたが、市として情報発信の強化策を考えていますか。ありましたら具体的にお願いします」との質問です。

米澤新聞社が休刊したことは、私個人としても非常に残念に思っています。地元の新聞社であり、市の様々な情報を発信していただいたと思っています。これからの情報の発信については、マスコミのみなさんに米沢市の情報を強く発信して欲しいとお願いをするとともに、市の SNS を活用して情報発信の強化を図らなければならないと思っております。さきほども話したとおり、デジタル社会ですから、どのような情報発信ができるかということも取り組まなければならないと思っております。

3点目は「米沢市における捕獲された猪の数や処分方法は、現在どうなっていますか。今後、焼却施設を整備することについて、どう考えていますか」との質問です。

米沢市におけるイノシシの有害捕獲頭数については、令和3年度は11月22日現在で10頭捕獲し、すべて自家消費となっております。

また、有害捕獲頭数が過去最高でありました令和2年度は、203頭の内、概ね180頭が自家消費で、23頭が埋設となっております。有害捕獲を実施している猟友会の方々には、基本的には自家消費又は埋設といった処理方法での処分をお願いしております。

焼却施設の整備については、現状の捕獲頭数で推移し、豚熱の蔓延等がなければ、現状の自家消費や埋設による処分を継続できると思われます。しかし、近隣市町での豚熱発生やイノシシの増加に伴い捕獲頭数が増える傾向から、埋設場所の確保も課題となり、今後検討を進めていく必要があると思われます。

置賜3市5町の首長が集まった会合の中で、焼却施設の話が出ました。以前から議論を交わしてきましたが、県内には焼却施設がなく、県内では置賜地域、村山地域でイノシシ被害が多く発生しているようです。また、米沢市では発生していませんが、近隣市町では豚熱が発生して豚舎の管理が厳しくなっているという話もあります。今後影響が出ないように対応しなければなりません。

焼却施設を置賜に設置したいという要望が3市5町の首長から出ました。以前から鈴木代議士を通して話をしてきましたが、先日の衆院選後に代議士を通して、焼却施設の在り方について国からの支援を要望しました。有害鳥獣対策への支援について、ということで置賜総合開発協議会として要望書を提出しました。国の認識としても、支援をしなければならぬとの話でした。今後、設置場所や焼却規模について3市5町の担当者会議を開いて、令和4年度中に動き出せるように検討を進めてまいりたいと思います。

私からは以上です。

○秘書広報課長

市長からの発言は以上となります。これ以降の進行につきましては、幹事社にお渡しいたします。よろしくお願いいたします。

○記者

SDGs など、現在進めている計画はあと2年間で終えて次の方につなぐということで、お気持ちに変わりはないですか。

○市長

はい。

○記者

後継者は考えていないとのことですが、指名なども考えていないですか。

○市長

どなたかが意欲をもって声を上げれば、考えていきたいと思いますが、今のところはあり

ません。

○記者

市長からの指名も特にないですか。

○市長

それも含めて、指名する方に意欲があるかどうかを確認しなければ、指名は難しいと考えています。

○記者

2期8年を条例で定めたと思います。コロナで状況が変わり、やりたいことが全くできなかった2年間だったと思いますが、3期目という考えはありませんか。

○市長

2期8年を自ら条例で決めました。コロナという想定外の状況になりましたが、コロナがなくとも、その8年の中に別の困難があったかもしれません。コロナは大変でしたが、自ら条例で定めた以上、政治に携わるものとして守らなければいけないと思います。

○記者

残り2年ですが、この2年でこれだけはやり遂げたい、というものをお願いします。

○市長

この8年を通して挙げていたことが3つあります。1つ目は財政健全化、2つ目は病院建設、3つ目は小中学校の統廃合です。

財政健全化については、市税収入の増加や、ふるさと納税などがあり、ある程度達成できたと思います。しかし、安心できる状況ではありませんから、さらなる財政健全化に力を注がなければならないと思います。

市立病院の建設については、1期目に三友堂病院との医療連携を進めました。建設が始まっていますが、形が見えるまで責任があると思います。令和5年の秋に建設が完了する予定ですが、運営や医師の確保など細部まで対応する必要があると思います。置賜地域の中核病院になるように進めなければならないと思います。病院が一番大きな取り組みになると思います。

学校の統廃合については、就任前は中学校を4校にする方針でした。しかし、少子化などを勘案しながら、3校としました。小学校の統廃合もあります。これらと連動して取り組む必要がある施設もありますから、各地区との懇談会などで説明をしております。

○記者

この1年、紅花に対する思いが強いと思いましたが、紅花についてはどうお考えですか。

○市長

米沢市だけではなく、県や農林水産省なども関わってくることです。世界農業遺産に選ばれれば、3市4町が対象になると思います。米沢の新たな地域資源として紅花を活用しなければならないと考えています。伝統的な紅花染めの他にも、紅花を活用する新たな取り組

みもあります。福王寺一彦先生のアトリエが旧南原中学校にできました。そこに紅花や漆を植えて画材にしたいという話もあります。校舎の脇に紅花畑を造成する対応もしています。米沢市の活性化に向けて、紅花をどう活用していくか、任期中に形にしたいと思います。

○記者

情報発信について、今までの発信にプラスして何かお考えでしょうか。

○市長

住民の皆様が何を一番活用するか、を考えたときに、一番大きな発信媒体は広報だと思います。広報での情報発信で今後どう対応するか、ということも課題だと思います。SNSやYouTubeでの情報発信についても、興味を持って見ていただけるように取り組まなければならないと思います。

○記者

定例記者会見のあり方についてです。記者会見というと、市からの発表事案があり、それについて質疑する、というやり方が多いと思います。米沢市の場合は、記者からの質問に答えるという方式ですが、情報発信強化ということで、今後は市からの発表も取り入れるのはいかがでしょうか。

○市長

考えさせてください。

○記者

焼却施設の設置場所について、市長と白鷹町長が何度か話をしていると耳にしますが、設置場所の候補に白鷹が入っていることはありますか。

○市長

候補地という話は一切ないです。話の内容としては、白鷹町でも非常に困っているということです。イノシシ被害が一番多いのは村山地域で、白鷹町も隣接していますから被害が多く出ています。そういった事情もあり、何度か非公式に情報交換をしておりました。今回は3市5町として、代議士を通して正式に国に支援をお願いしました。

○記者

焼却施設が建設されるとしたら、どこに建ちますか。

○市長

我々からお願いをしましたが、必ずしも米沢市・置賜に建てようとは思っていません。ただし、県内には焼却施設がないため、仮に焼却施設が置賜に建設された場合、置賜以外からも搬入されると思います。その場合は、県からも支援をいただき、どの市町村からも受け入れられるようにしなければならないと思います。置賜に建設された場合、どこが主体となって運営をするか、ということも含めて3市5町の担当者会では協議をする予定です。

○記者

静岡県や長野県ではジビエ料理を推進していて、捕獲・屠畜から提供までのフローがで

きています。食べること、命をいただくことが食育にもつながると思います。ただ殺す・焼却するだけでなく、食肉としてどう活用するか、ということは協議しましたか。

○市長

採算性が取れるのか、などの問題が出てくると思います。また、イノシシの多くは、福島県や宮城県から山を越えてやって来ます。消費者の中には、まだ放射線の影響を気にする方もいますから、ジビエとするには難しい部分もあるかと思っています。

○記者

焼却施設の運営主体について、例えば、置賜広域行政事務組合が運営するというのはイメージしやすいのですが、他にはどんな運営がありますか。

○市長

置賜広域行政事務組合が事業主体になることは可能ですが、国の補助のあり方などを考えると難しい部分もあると思います。例えば、置賜広域行政事務組合が主体になろうとしても、米沢市に施設がある場合は米沢市しか補助対象にならない、という可能性もあります。その辺りも含めて、代議士を通して確認しています。

○記者

雪灯籠まつりは開催する予定でよろしいですか。

○市長

はい。

○記者

現職市議の逮捕を受けて、コメントをお願いします。

○市長

あってはならないことだと思っています。残念に思いますし、怒りもあります。市民の皆様に申し訳ないという思いです。

○記者

衆院選では同じ候補者を応援したわけですが、何か感じるものはありますか。

○市長

私は選挙対策本部に入っているわけではないので、どういった選挙戦略だったか分かりません。ただ、公職選挙法違反で逮捕されたことは論外だと思います。

○記者

容疑、という段階ではありますが、本人の身の処し方について市長はどうお考えでしょうか。

○市長

私が言及するものではないと思っています。今はまだ容疑の段階で、起訴はされていません。報道を見ると、買収行為については、約束をした、ということで、現金の授受があったかどうかは分かりません。現時点では、議員の身分について私からのコメントは差し控えさ

せていただきます。

○記者

今回の件を受けて、議会でも色々と変えていこうという動きがありますが、市長はどうお考えですか。

○市長

議会がそういった対応をするということは、議会の自浄作用を整えようという意図があると思います。私としてはそれに期待しています。今後こういったことがないように、議会運営も含めて取り組んでいただきたいと思います。

○記者

市長から見て、市議の印象、人物評はどうでしたか。

○市長

良いところでは、パワーのある方でした。一方で、もう少し慎重に行動しなければならない点もあったのではないかと思います。

○秘書広報課長

これをもちまして令和3年11月の定例記者会見を終了させていただきます。